



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ブランディングテクノロジー株式会社
 コード番号 7067 URL <https://www.branding-t.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 裕紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 松原 祐輔

TEL 03-6455-3117

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,005	17.6	51		51		37	
2020年3月期第1四半期	1,219		19		6		0	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 37百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 0百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	23.47	
2020年3月期第1四半期	0.01	0.01

(注) 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,336	1,064	45.4
2020年3月期	1,845	1,106	59.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,061百万円 2020年3月期 1,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(注) 2021年3月期の連結業績予測につきましては、現時点では未定であります。連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,615,000 株	2020年3月期	1,615,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	18,745 株	2020年3月期	10,900 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,599,739 株	2020年3月期1Q	1,497,068 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点においても不確実な要素が大きいことから、記載しておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績の状況)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に、外出自粛、休業要請が本格化し、大幅に制約された経済活動が続きました。緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス感染症の第2波の可能性も非常に高く、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループにおいては、企業活動が制限された状況下で、テレワーク等の積極的な活用により生産性の維持・向上に取り組みましたが、いずれの事業セグメントにおいても売上が減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,005,092千円（前年同期比17.6%減）、営業損失は51,559千円（前年同期は営業利益19,027千円）、経常損失は51,945千円（前年同期は経常利益6,946千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は37,553千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益19千円）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① ブランド事業

当該事業におきましては、「ブランドファースト」の考え方を反映した独自フレームワークを軸に、中堅・中小企業が抱える収益拡大課題、人材及び育成課題に対して、顧客の”らしさ”を明確にし、顧客の競合差別化及び顧客とのコミュニケーションデザインに基づき、オウンドメディア構築運用及び経営サポートサービス、コンテンツマーケティングサービス、歯科経営コンサルティングサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、非対面型の営業活動やアライアンス企業とのオンライン動画セミナーの共同開催等に注力してまいりました。

一方で、当社グループの主要顧客である中小企業は、緊急事態宣言の発令により経済活動が制限される環境下で、オウンドメディア等に対する投資が抑制されております。そのことに起因し、受注活動、納品活動共に大きな影響を受けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は311,678千円（前年同期比17.2%減）、セグメント利益は51,844千円（前年同期比30.9%減）となりました。

② デジタルマーケティング事業

当該事業におきましては、中堅・中小企業向けにデジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。専門特化したマーケティングの責任者がおらず、ノウハウがない中堅・中小企業に対して、当社で抱えているコンサルタント人材が、上流のマーケティングフレームワークを理解したうえで、現状分析、戦略立案・実行、効果測定までワンストップで提供出来ることを強みとしております。プロモーション戦略を立案し、各種インターネット広告を活用することによってサイトのアクセス数を増加させるとともに、サイトのレポートングを通じて課題を明らかにし、改善を行うことで、中堅・中小企業の収益機会の拡大に貢献してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、テレワークによる働き方改革、非対面型の営業活動による効率化により、既存顧客へのサービス拡充に注力してまいりました。

一方で、緊急事態宣言による経済活動の制限により、取引先各社の広告分野における企業の支出抑制、予算見直しが生じたことで、売上高、セグメント利益共に大きな影響を受けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は672,650千円（前年同期比17.2%減）、セグメント利益は19,019千円（前年同期比61.2%減）となりました。

③ オフショア関連事業

当該事業におきましては、ベトナム、沖縄を中心にオフショア及びニアショア体制を強化することによって、ブランド事業及びデジタルマーケティング事業に対して、高品質なサービスをより安価で提供することを実現しております。また、当該体制で培ったノウハウを、現地で同等の品質でサービス提供することにより、アジアに事業所を持つ日系企業や現地企業におけるオウンドメディアの構築や、デジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力のオウンドメディア構築に加え、地場の企業や第三セクターとの地域活性に繋がる取組等を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は20,764千円（前年同期比30.9%減）、セグメント損失は1,955千円（前年同期はセグメント利益1,079千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産2,336,470千円となり、前連結会計年度末と比較して490,877千円増加しております。負債合計は1,272,074千円となり、前連結会計年度末と比較して532,966千円増加しております。純資産は1,064,396千円となり、前連結会計年度末と比較して42,088千円減少しております。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ483,312千円増加し、2,084,734千円となりました。これは受取手形及び売掛金100,497千円減少した一方で、現金及び預金が657,687千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,565千円増加し、251,736千円となりました。これは有形固定資産が5,323千円、無形固定資産が2,217千円減少した一方で、投資その他の資産のその他が14,314千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ76,296千円増加し、710,651千円となりました。これは買掛金が76,979千円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が133,333千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ456,669千円増加し、561,423千円となりました。これは固定負債の長期借入金が456,667千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ42,088千円減少し、1,064,396千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失を37,553千円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない中、緊急事態宣言の解除以降において国内外の消費回復の足取りは鈍く、緩やかな回復傾向にあるものの、顧客の広告投資は抑制されている状況にあります。そのため、当社の営業活動につきましては、受注活動、納品活動に大きな影響を受けております。2020年5月15日に開示しました「2020年3月期決算短信」以降も足元の状況に大きな変更はありません。2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動の更なる下振れリスクが顕在化しており、現時点で合理的な算定が困難であることから未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,467	1,571,155
受取手形及び売掛金	514,860	414,362
仕掛品	14,081	18,584
前払費用	84,550	76,654
未収消費税等	76,269	-
その他	3,979	7,963
貸倒引当金	△5,785	△3,986
流動資産合計	1,601,421	2,084,734
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	80,567	75,243
有形固定資産合計	80,567	75,243
無形固定資産		
その他	21,834	19,617
無形固定資産合計	21,834	19,617
投資その他の資産		
その他	155,110	169,424
貸倒引当金	△13,341	△12,549
投資その他の資産合計	141,768	156,875
固定資産合計	244,171	251,736
資産合計	1,845,593	2,336,470
負債の部		
流動負債		
買掛金	320,668	243,688
1年内返済予定の長期借入金	-	133,333
未払法人税等	17,337	2,821
賞与引当金	50,052	32,341
その他	246,296	298,465
流動負債合計	634,354	710,651
固定負債		
長期借入金	-	456,667
長期預り保証金	101,500	101,500
その他	3,254	3,256
固定負債合計	104,754	561,423
負債合計	739,108	1,272,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,487	157,487
資本剰余金	154,097	154,147
利益剰余金	802,728	765,174
自己株式	△10,404	△17,951
株主資本合計	1,103,908	1,058,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38	271
為替換算調整勘定	2,539	2,706
その他の包括利益累計額合計	2,501	2,978
新株予約権	74	74
非支配株主持分	-	2,485
純資産合計	1,106,484	1,064,396
負債純資産合計	1,845,593	2,336,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,219,044	1,005,092
売上原価	911,428	777,739
売上総利益	307,616	227,353
販売費及び一般管理費	288,589	278,912
営業利益又は営業損失(△)	19,027	△51,559
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	-	4
受取手数料	58	19
受取補償金	70	27
還付加算金	-	452
その他	69	244
営業外収益合計	208	749
営業外費用		
支払利息	77	334
上場関連費用	11,032	-
為替差損	1,179	546
その他	-	255
営業外費用合計	12,289	1,135
経常利益又は経常損失(△)	6,946	△51,945
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	6,946	△51,945
法人税、住民税及び事業税	7,002	799
法人税等調整額	△75	△15,191
法人税等合計	6,926	△14,391
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19	△37,553
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	19	△37,553

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19	△37,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	310
為替換算調整勘定	△528	166
その他の包括利益合計	△499	476
四半期包括利益	△479	△37,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△479	△37,076
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年6月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2019年6月20日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行70,800株及び自己株式の処分55,400株により、資本金が56,668千円、資本剰余金が119,169千円増加し、自己株式が26,183千円減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金156,168千円、資本剰余金152,778千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについて、新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループへの影響はあるものの、2021年3月期中に収束するとの仮定のもと、当四半期連結会計期間の末日現在で入手可能な情報に基づき会計処理を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	376,458	812,551	30,034	1,219,044	-	1,219,044
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	996	-	39,370	40,366	△40,366	-
計	377,455	812,551	69,405	1,259,411	△40,366	1,219,044
セグメント利益	75,035	49,004	1,079	125,119	△106,091	19,027

(注) 1. セグメント利益の調整額△106,091千円には、セグメント間取引消去438千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△106,530千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	311,678	672,650	20,764	1,005,092	-	1,005,092
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,383	-	40,272	42,655	△42,655	-
計	314,061	672,650	61,036	1,047,748	△42,655	1,005,092
セグメント利益又は セグメント損失(△)	51,844	19,019	△1,955	68,908	△120,467	△51,559

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△120,467千円には、セグメント間取引消去152千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△120,619千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。